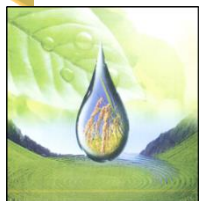


『うるおいの大地』の運用状況

為替ヘッジ付ソブリン／農業関連オープン(愛称 うるおいの大地)
追加型投信／内外／資産複合

2018年2月23日



為替ヘッジ付ソブリン／農業関連オープン(愛称 うるおいの大地)は、先進国のソブリン債(為替ヘッジ付ソブリンオープン(適格機関投資家専用))へ投資を行い安定した金利収入を確保しつつ、農業に関連する日本の株式(農業関連日本株マザーファンド)および世界の農業に関連する指数(上場投資信託証券(ETF))に投資をしています。

【第6期決算日の基準価額は125円上昇】

為替ヘッジ付ソブリン／農業関連オープン(愛称 うるおいの大地)(以下、当ファンド)の基準価額は、第5期決算(2017年8月14日=10,217円)後、世界経済の拡大、米国の金融引締めが緩やかなペースで行われることによる世界的な低金利環境の持続、国内企業の好業績への期待などを背景に堅調に推移し、一時、10,800円台まで上昇しました。しかし、2018年2月に入ると、良好な経済指標の発表を受けて、米国長期金利が上昇したことや株式市場の急落の影響を受けて当ファンドの基準価額も下落し、2月14日の決算時には10,342円(税引前分配金(100円)込み)となりました。

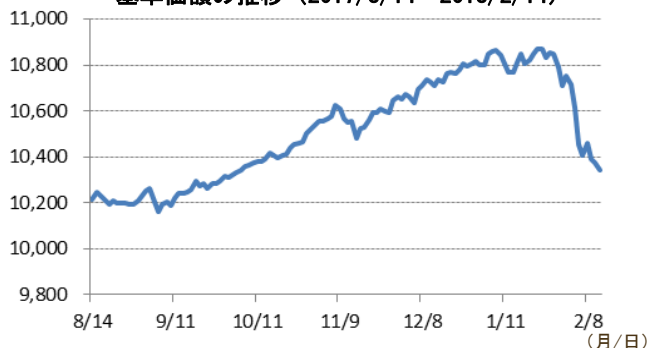
【株価の上昇が基準価額にプラス寄与】

債券市場は、2017年12月中旬にかけて、堅調な米国経済や米税制改革法案の進展などを背景に米国債の利回りが上昇した一方、欧州政治への懸念や欧州中央銀行(ECB)が金融政策の正常化を慎重に進めるとの見方を背景に、米国を除く主要国では債券利回りが緩やかに低下しました。しかしその後は、カナダ中央銀行やECBなどの金融政策正常化への動きが意識されたことから、主要国の債券利回りが上昇基調を辿り、基準価額にはマイナスに影響しました。

国内株式市場は、2018年2月に円高ドル安の進行や、米国の利上げペースの加速懸念から米国株式市場が急落したことなどをを受けて下落しましたが、1月中旬までは、主要企業の2017年度の会社利益計画が上方修正されるなど良好な企業業績が好感され、株価が上昇したことから、基準価額にはプラス寄与となりました。

農産物市場は、米国をはじめ北半球の主要な穀倉地帯で農産物が豊作となり、供給過多による需給緩和観測が広がったことで下落しました。その後、ラニーニャ現象の影響とみられる南米産地の天候不順を受けて持ち直す動きとなりましたが、基準価額にはマイナスに影響しました。また、為替が円高になったことも、当ファンドのマイナス要因となりました。

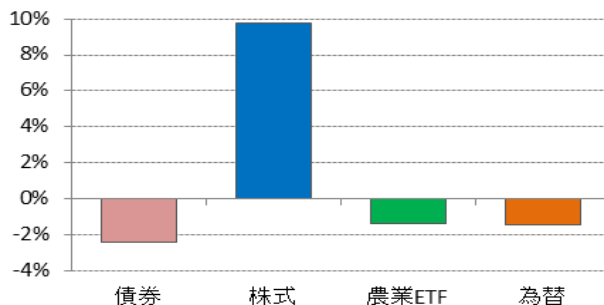
(円) 基準価額の推移 (2017/8/14~2018/2/14)



※1万円当たり、信託報酬控除後です

※2018年2月14日は、税引前分配金(100円)込み

組入資産の騰落率 (2017/8/14~2018/2/14)

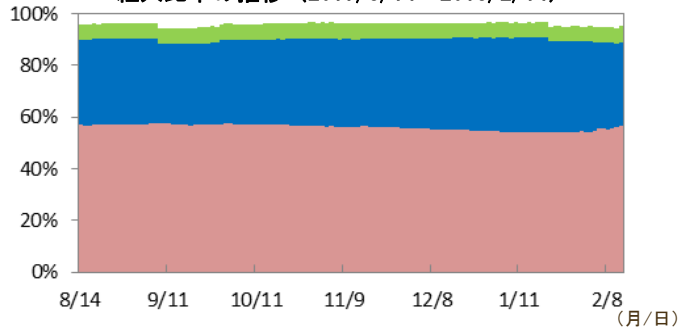


※債券は為替ヘッジ付ソブリンオープン(適格機関投資家専用)の分配金再投資基準価額、株式は農業関連日本株マザーファンドの基準価額、農業ETFはパーシェアーズDBアグリカルチャー・ファンド、為替はドル/円相場

※ETFは、当該日前営業日の現地終値を基に計算

(出所) Bloomberg、投資信託協会のデータを基に
岡三アセットマネジメント作成

組入比率の推移 (2017/8/14~2018/2/14)



※組入比率は、当ファンドの純資産総額に対する比率です。

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「為替ヘッジ付ソブリン／農業関連オープン(愛称 うるおいの大地)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成されたものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



為替ヘッジ付ソブリン／農業関連オープン(愛称 うるおいの大地)
追加型投信／内外／資産複合

【世界のソブリン債の見通し】

米国の財政悪化やインフレ率上昇懸念に加え、米連邦準備制度理事会(FRB)が緩やかな利上げ継続姿勢を示していることや、欧州中央銀行(ECB)の金融政策正常化に向けた動きが進められると考えられることから、債券利回りは緩やかな上昇局面が続くと見えています。

今後の運用につきましては、米国債の比率を引き下げ、欧州国債ヘシフトさせる方針です。

【日本株式の見通し】

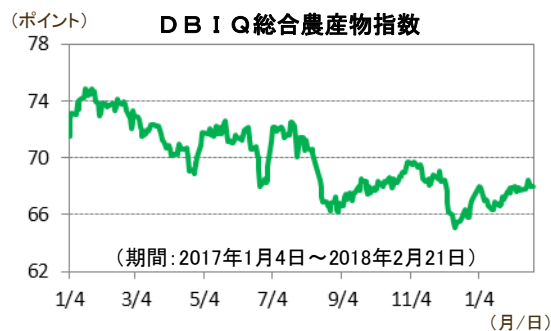
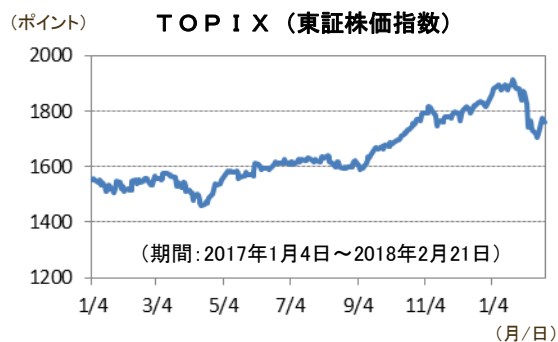
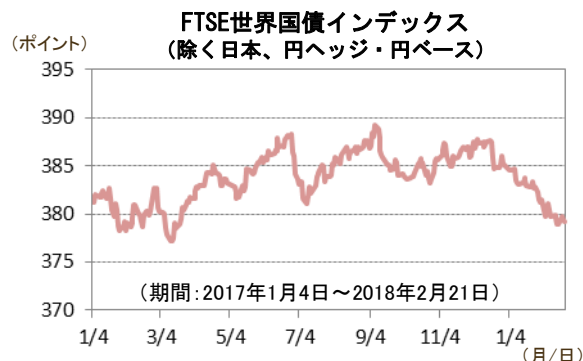
1月までの株価上昇が急ピッチだった反動に加え、為替市場の動向や米国長期金利の上昇に対する警戒感などから、短期的には不安定な展開が想定されます。しかしながら、世界的な景気拡大や日本企業の業績拡大期待など、国内株式市場を取り巻くファンダメンタルズは良好に推移していると考えられることから、中期的には上昇基調で推移すると予想します。

今後の運用につきましては、海外での中期的な事業拡大余地が大きいと考えられる農業機械株などの組入比率を高めとした運用を行う方針です。

【世界の農業に関連する指数の見通し】

足元で南米、特にアルゼンチンの産地においてラニーニャ現象の影響とみられる降雨不足が続いており、農産物の作柄悪化懸念が強まっています。ラニーニャ現象は今春まで続くと考えられており、当面は産地の天候に左右されやすい不安定な相場展開になると予想されます。

ただ、最大の穀物輸出国である米国が4年連続で記録的な豊作に恵まれたことなどから、世界的に農産物の在庫は潤沢であり、次第に上値の重い展開になると考えます。



※FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)、DBIQ総合農産物指数については、当該日前営業日の現地終値を基に作成

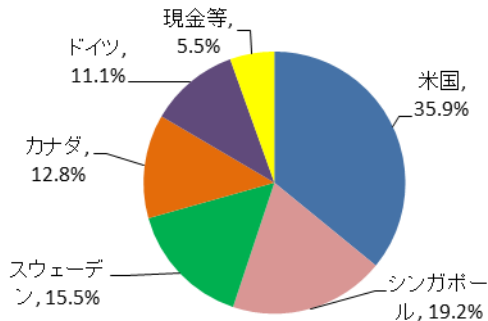
(出所) Bloombergデータを基に岡三アセットマネジメント作成

農業関連日本株マザーファンドの 組入上位 10 銘柄 (2/14現在)

	銘柄名	組入比率
1	クボタ	7.3%
2	アサヒグループホールディングス	6.0%
3	三井化学	5.6%
4	宝ホールディングス	5.5%
5	サカタのタネ	5.5%
6	クレハ	5.4%
7	カゴメ	5.4%
8	アグロ カネショウ	5.3%
9	日産化学工業	5.3%
10	日本曹達	5.1%

※組入比率は、農業関連日本株マザーファンドの純資産総額に対する比率です。

為替ヘッジ付ソブリンオープン(適格機関投資家専用)の 国別投資比率 (2/14現在)



※比率は、為替ヘッジ付ソブリンオープン(適格機関投資家専用)の純資産総額に対する比率です。

(作成: 運用本部)

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「為替ヘッジ付ソブリン／農業関連オープン(愛称 うるおいの大地)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



為替ヘッジ付ソブリン／農業関連オープン(愛称 うるおいの大地)
追加型投信／内外／資産複合

為替ヘッジ付ソブリン／農業関連オープン(愛称 うるおいの大地)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、先進国の国債や国内の株式、世界の農業に関連するETF等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、先進国の国債については、原則として為替ヘッジを行います。為替変動リスクを完全にヘッジすることはできません。世界の農業に関連するETFについては、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
 - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「金利変動リスク」「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」があります。
- ※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが見込まれる場合も同様です。
- 投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込みの受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞

- 購入時
購入時手数料：購入価額×購入口数×上限2.16%(税抜2.0%)
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
換金手数料：ありません。
信託財産留保額：換金申込受付日の翌営業日の基準価額×0.1%

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞

- 保有期間中
運用管理費用（信託報酬）の実質的な負担：純資産総額×年率0.972%(税抜0.90%)程度
実質的な負担とは、ファンドが投資対象とする投資信託証券（為替ヘッジ付ソブリンオープン（適格機関投資家専用））を純資産総額の60%程度組入れた場合の信託報酬を含めた報酬です。なお、実質的な運用管理費用（信託報酬）は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。この他、上場投資信託証券の運用報酬等をご負担いただきます。
- その他費用・手数料
監査費用：純資産総額×年率0.01296%(税抜0.012%)
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を信託財産でご負担いただきます。また、投資対象とする信託証券に係る前記の費用等を間接的にご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。なお、上場投資信託証券の費用は表示しておりません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。



為替ヘッジ付ソブリン／農業関連オープン(愛称 うるおいの大地)
追加型投信／内外／資産複合

販売会社

2018年2月23日現在

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業 協会
(金融商品取引業者)					
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			

<本資料に関するお問合わせ先>

フリーダイヤル 0120-048-214 (9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)